

学びの広場

みんなでスポーツや文化活動に参加を 今月は足柄上郡総合体育大会への取り組み スポレク祭、文化祭について特集します

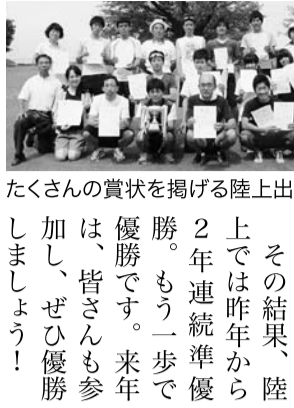
参加選手が最多の松田 《上郡総合体育大会》

6月23日・30日に行われた第62回足柄上郡総合体育大会。松田町が担当町のため、松田中学校・寄中学校体育館など町のスポーツ施設をメイン会場に実施されました。

成績は、陸上・柔道・剣道が種目別で準優勝。2年ぶりの優勝を目指した総合成績は、残念ながら4位に終わりました。

しかし、参加選手の人数では、昨年から5町で最も多い人数になりました。ちなみに、松田町の過去10年間で最も少なかった第55回大会(平成18年)は186人。今年(平成24年)は204人と松田では、初めて200人を超えました。

これは、担当町になったことで各種目、定員まで選手をそろえたこと、特に陸上競技で一昨年から、それまで競技とは縁のなかった人々(特に女性)に呼び掛け、練習会を実施し、出場していただいた賜物であります。



たくさんの賞状を掲げる陸上出場選手たち

その結果、陸上では昨年から2年連続準優勝。もう一歩で優勝です。来年は、皆さんも参加し、ぜひ優勝しましょう!

町最大のスポーツイベント 第7回松田スポレク祭

10月13日(日)松田

昨年、800人を超える参加があった「松田スポレク祭」は、今回で7回目となります。

以前は町民大会として、自治会対抗のスポーツ大会でしたが、少子化などの影響もあり、自治会単位で選手を選出することが困難になってしまいました。このため、子どもからお年寄りまで、また障害のある方もだれでも参加できるスポーツイベントとして「スポレク祭」がスタートしました。



高垣運動指導士の指導で準備体操

今年、町内を自治会単位で大きく4つのグループに分け、各種目で楽しんでいただきます。さらに参加者全員に参加賞と抽選券を用意しています。

この他、参加者全員と体協レク部とで炭坑節・松田音頭などの踊りを行います。特に松田音頭は、子どもたちに伝えたい松田の踊りです。お子さんとご一緒に奮ってご参加ください。

好評の体協バレー部と食生活改善推進団体による模擬店は売り切れ続出です。

また、昼食後(12時40分)には町の商店の商品券が当たる抽選会があります。

第40回

町文化祭 10月26日(土)・27日(日)

《きてみてふれあうまつだ2013》

松田さくら保育園とプロジェクト奇「藍で染めよう」会が初参加

町民文化センターで行われる町文化祭は、文化の推進と町民のふれあいを目的に、昭和49年から開催し、今年で40回目となります。

今年も、展示、実演、芸能発表の3部門で構成されます。主な内容は下段のとおりです。



昨年度の展示から

なお、今年度、初参加の団体である松田さくら保育園とプロジェクト奇「藍で染めよう」会から展示をいただきます、より盛大に開催します。

中学生大会結果

(敬称略)

○通信陸上西地区大会

女子共通1500m	松中 柏木 愛子	2位
女子共通2000m	松中 芹野 陽香	3位
女子共通走幅跳び	松中 芹野 陽香	3位
女子共通砲丸投げ	松中 饒平名真結	3位



左から 饒平名、芹野、柏木

○足柄上・南総合体育大会

男子1年 1500m	寄中 吉田 海遥	3位
------------	----------	----



男子1年 1500m 3位 寄中 吉田 海遥



男子個人の部 優勝 松中 石川 真大



前列左から 岩田、佐野、原田、鈴木、齋藤、中村、小野田、江川
後列左から

寒田神社(一)

松田山ハーブガーデンから町を見下ろすと、いくつかの森が目に入ります。酒匂川の手前、松田小学校の右手に見える森が「かやのき森」と呼ばれた寒田神社の神域です。

実は、寒田神社の「寒田」は本来「サムタ」と読むのが正しいのですが、「カンダ」と言う人もいます。それは江戸時代に当

松田の文化財探訪 《町指定文化財とその周辺2》 町文化財保護委員 鈴木 一行



寒田神社

社が「神田明神社」とも呼ばれていたからです。その理由を江戸末期に成立した『新編相模国風土記稿』は、「サムタと読ませる寒田が、いつの間にか音読み

のカタダに変わり、神田の字を当てるようになったからだ」と説明しています。

1971(昭和46)年、寒田神社の境内一帯は「史跡」として

て最初の町指定文化財になりました。この時に、他にも14点の文化財が指定を受けています。当社の歴史は大変古く、10世紀前半に編纂された『延喜式』神名帳にも「足柄上郡一座小寒田神社」とその名前が見えます。この神名帳に記載された神社のことを式内社といい、祭祀時には国家から幣帛(神への献上品)が捧げられました。「足柄上郡」とは足柄上郡のことであり、「座」とは神様の数を示す単位です。

そして、神社の重要度によって「大」「小」に区別されました。相模国に式内社は13社ありましたが、「大社」に格付けされたのは一宮の寒田神社だけでした。つまり、足柄上郡唯一の式内社である寒田神社は、相模国の国司(長官)によって幣帛を献上される「国幣小社」という地位にあったのです。

このように、由緒ある神社ではあるものの、1654(承応3)年の大洪水によって宝蔵庫などが流出してしまいました。その結果、多くの文化財が失われてしまったのです。